

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成31年 4月 10日

仕事の内容	狭山公民館事業			
担当部署・課長名	中央公民館	課	狭山公民館	係 課長名 佐伯 芳幸

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	1 - 2	5 - 3
【施策名】生涯学習の充実 共に支えあう地域社会の確立	総合計画書 (ページ)	35	110

予算名	款 10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	事業 3	狭山公民館事業
-----	------	-----	-----	-------	-----	------	------	---------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	市民 →	湖畔、高木、狭山、清水地区に居住する市民の数(30年4月1日現在) 公民館利用は地域制限はないが、近隣住民の人数とした。
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
地域で、学習の場に参加できる。	①公民館主催事業参加者 ②公民館施設利用者(公民館主催事業参加者を除く) ③定期利用グループ数(31年3月31日現在)	→
③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)	
①利用者連絡会等開催 ②講座開催 ③イベント開催 ④施設の貸出 ⑤狭山公民館だよりの発行	①利用者連絡会等開催回数 ②講座開催回数 ③イベント開催回数 ④施設の利用率 ⑤狭山公民館だよりの発行回数	→

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	15,461	15,465	15,414	
	成果指標	②の数値	①人 ②人 ③グループ	① 1,307 ② 16,515 ③ 55	① 2,045 ② 13,146 ③ 50	① 1,723 ② 14,749 ③ 51	
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方					
活動指標	③の数値	①回 ②回 ③回 ④% ⑤回	① 30 ② 28 ③ 3 ④ 47.06 ⑤ 3	① 24 ② 28 ③ 2 ④ 43.29 ⑤ 3	① 22 ② 27 ③ 2 ④ 46.95 ⑤ 3		

3 経費	事業費(実績)	円	17,813,539	17,281,205	16,362,662	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	円	17,687,489	17,170,915	16,231,522	
	一般財源	円	126,050	110,290	131,140	
	特定財源	円	126,050	110,290	131,140	
	(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	人	2	2	2	
所要人数(再任用以外)	人					
所要人数(再任用)	人					
職員人件費(再任用以外)	円	16,534,000	16,506,000	16,488,000		
職員人件費(再任用)	円					
事業費+人件費	円	34,347,539	33,787,205	32,850,662		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	昭和51年7月1日、市内3番目の公民館として開館。市民の生涯学習を目的としている。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	利用者の高齢化。 施設の貸出について、インターネット予約を平成27年10月から開始した。

仕 事 の 内 容	狭山公民館事業				
担当部署・課長名	中央公民館	課	狭山公民館	係	課長名 佐伯 芳幸

5 市 民 等 の 意 見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	施設予約について、平成27年10月にシステムを導入したことにより、当初はインターネットに不慣れな高齢者から操作に対する不安が多数寄せられたが、最近は皆慣れてきたようであり不安の声を聞かなくなった。また、調整会議を廃止したことにより、利用者同士が顔を合わせる機会がなくなり、コミュニケーションの低下を心配する声もあったが、利用者連絡会の館外・館内研修やまつり、グループ活動講習会などで大勢の参加者を集め、情報交換をすることでカバーしている。				
6 市 民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。(複数回答可)				
	取り組んだ	取組手法	①②⑤⑥ (市報・市HP・こうみんかんだより・地区館だより) ⑦ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 (広報媒体:) ⑦後援・場の提供 ⑧その他 ()		
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点					
日ごろから利用者とのコミュニケーションを図り、互いの信頼関係を築いていくことが、さらに適した協働の形態とするために大切である。					
7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容				
	公民館利用率について、平成29年度は前年度を下回った。特に狭山公民館は他館と比べ低い水準にある。これまで公民館を利用していた人たちの高齢化が進み、利用率減を招いている状況である。さらにレジャーが多様化される中、公民館に活動の場を求める人が減ってきている。公民館の存在意義の伝承や魅力のある公民館運営が求められている。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。				
	平成29年度の課題となっていた利用率減については、魅力のある事業の実施、積極的な会員募集やイベントのポスター掲示等のグループ活動支援を心がけ、平成30年度は3.86ポイント増加した。				
(3)(2)を踏まえた今後の課題					
公民館利用率について、平成30年度は前年度を上回ったが狭山公民館は他館と比べ低い水準にある。これまで公民館を利用していた人たちの高齢化が進み、利用率減を招いている状況である。さらにレジャーが多様化される中、公民館に活動の場を求める人が減ってきている。公民館の存在意義の伝承や魅力のある公民館運営が求められている。					
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」)の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など				
	利用率を維持又は増加させるには、主催講座からの新たなグループ作りを支援しながらも、既存グループに対し会員を増やす取り組みも強化していくことが必要である。				
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
	魅力のある事業を実施することで新たな公民館利用者を増やす方を講じていく。				
(3)改革・改善案による期待成果					
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。					
成果	成果を向上させる。			経費	仕事の経費を増加させる。